

山梨学院大学大学院では、大学院におけるディプロマポリシー（DP）に照らし、教育課程レベル（学部・学科）および科目レベル（授業・科目）において、学生の修得能力、教育課程の適切性、教育力の面の学修成果の評価を行うための指針を、以下のとおり定める。

入学時	入学時において、基本的な専門知識を確認しつつ、研究計画書及びそれにもとづく面接試験によって、アドミッション・ポリシーで求める「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」が身についているか評価する。
在学中	<ol style="list-style-type: none"> 1 講義科目においては、国際政治・国際関係、経営・経済、財政・租税等、の3領域にかかる深い専門知識の修得と、研究のための基礎的な能力の修得を試験もしくはレポートで評価する。 2 演習科目においては、高度な専門知識の更なる獲得と調査研究方法の応用能力を課題報告とディスカッション等で評価する。
卒業時	卒業時において、修士論文をもとにした最終試験を通して全学および研究科DPが求める能力が身についているか評価する。

大学院における学修成果を測定する方法

山梨学院大学大学院では、大学院における学位授与方針に基づき、学修成果を測定する方法を以下のとおり定める。

	課程レベル	科目レベル
入学時	—	—
	入学試験 研究計画書	—
在学中	<ul style="list-style-type: none"> ・成績分布状況（GPA） ・単位修得状況（修得単位数） ・休学者数、退学者数、留年者数 	・授業アンケート
	演習系科目におけるパフォーマンス評価	—
卒業時	—	—
	<ul style="list-style-type: none"> ・修了者数 ・進路状況（就職者数、進学者数） ・修了時調査 	—